

樟彩

～ 岩田学園だより 2025年2月号 ～



目次	p
校長式辞	1
「いじめ防止基本方針」	23
生徒総会	45
学校評価アンケート集計結果	6
4年医進クラス医療施設体験	7
3年未来コーチング実施	7
保健室より	7
表彰	7
部活動結果報告	8
卒業生によるパトニルー	8

高校卒業式の式辞より

校長 児玉 洋司

春の息吹が感じられる今日、この晴れやかな日に、ご来賓の皆様、そしてご家族の皆様のご臨席のもと、令和6年度岩田高等学校の卒業式を挙行できることは、誠に喜ばしく、心より感謝申し上げます。37回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが、今手にした卒業証書には、家族や仲間、教職員と共に過ごした数々の思い出が刻まれています。

37回生は、明朗快活で、先輩や後輩、先生方と一丸となって、素晴らしい成果を挙げました。その努力と成果は、岩田学園の歴史にしっかりと刻まれます。

楽しい思い出がたくさんあった中で、辛く苦しい時期もあったことでしょう。そして今、この瞬間にも期待と不安が入り混じっていることでしょう。

ですが、心配はいりません。皆さんには仲間がいます。家族がいます。そして、新しい出会いが待っています。私たち教職員も、皆さんの背中をいつでも押しています。

ただし、人生は長い道のりであり、世の中は広いものです。だから、時には誓ったことを実行に移すのが難しくなることもありますし、ついダラダラしてしまうこともあるでしょう。将来に対して不安を抱いたり、自己嫌悪に陥ったりすることもあるかもしれません。

そんなときは、私がいつも伝えてきたメッセージを思い出してください。アメリカの伝説的バスケットボール選手、マイケル・ジョーダンが『成功の秘訣は何ですか？』と問われた際の言葉です。『私は選手生活の中で、9000本以上のシュートを外し、300回近くの試合に負けました。さらに、26回のウィニングショットを任せながら失敗もしました。人生では何度も何度も失敗しました。それが…私が成功した理由です。』。物事の捉え方を少し変えるだけで、将来は大き

く変わります。自分の力を過小評価せず、挑戦を続けてください。生きている喜びを全身で感じ、輝ける未来に向かって歩みを進めましょう。君たちなら必ずできると信じています。

ご家族の皆様へ、改めてお祝い申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。

多くのご苦労があったことと存じますが、今日はその成果としてこの素晴らしい日を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。37回生は本日を節目に、次の大きな一歩を踏み出します。これからは大学進学や就職活動など、さらに新たな挑戦が待っています。ご家族の皆様の経済的な支援や進路に対する助言が、今後ますます重要な役割を果たすことでしょう。

心配なことも多いかもしれませんが、お子様の成長と活躍に、さらに大きな生きがいを感じられることと思います。今後のご活躍を心から楽しみにしております。

そして、改めまして、数ある進路選択の中から岩田学園をお選びいただき、またこのように素晴らしい生徒たちを預けていただいたことに、深く感謝申し上げます。私たち教職員一同、心からの感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、37回生の皆さん、これからは自分で決断することが多くなります。

Festina Lente、急ぐことはありませんが、素敵な生き方を見つけてください。そして、日々感謝の気持ちを大切に、歩いていってください。以上をもって、式辞といたします。

令和7年3月1日 岩田高等学校
校長 児玉洋司



～「いじめ防止基本方針」と対応組織図について(定期配信)～

いじめ防止基本方針

2014年10月1日制定
2018年7月10日改正
2020年4月1日改正
2021年5月20日改正
2023年12月25日改正

1. 目的

近年、いじめは冷やかしからかいなどのほか、SNSなど情報機器等を介したいじめ、暴力行為に及ぶいじめなど、年々複雑化し、学校だけでは対応が困難な事案も国内で増加している。また、いじめをきっかけに不登校になってしまったり、自らの命を絶とうとしてしまったりするなど、深く傷つき、悩んでいる生徒もいるため、いじめの問題への対応はすべての教育機関において大きな課題である。

そこで、生徒達が意欲を持って充実した学校生活を送れるよういじめ防止に向け、日常の相談体制の整備し、いじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合は適切に且つ速やかに解決するために『岩田学園 いじめ防止基本方針』を定める。

2. 基本理念

いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命または身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものである。いじめの防止等の対策は、すべての生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができることをめざして行わなければならない。

3. いじめに対する共通理解

(1) いじめの定義 (いじめ防止対策推進法第2条)

『いじめ』とは、生徒に対して、当該生徒と一定の人的関係にある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。また、けんかであってもしっかりと調査をして対応する。軽微な案件はいじめという言葉を使わず指導するなど、柔軟な対応による対処も可能である。ただし、いじめとして情報共有し、必要に応じて他の事情も勘案して判断するものとする。

(2) いじめに対する基本的な考え方

『いじめは絶対に許されない』、
『いじめはいじめる側が悪い』との認識

『いじめは、どの生徒にも、どの学校においても起こり得る』との認識

『いじめの未然防止は、学校・教職員の最重要課題』との認識

(3) いじめの構造と動機

いじめは、『いじめられる生徒』、『いじめる生徒』だけでなく、『観衆や傍観者』などの周囲の生徒がいる場合が多い。周囲の生徒の捉え方により、抑止作用になったり促進作用になったりする。また、いじめの動機には、嫉妬心・支配欲・愉快犯・同調性・嫌悪感・反発や報復・欲求不満といったものが考えられる。

(4) いじめの態様

- ①冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる
- ②仲間はずれ、集団による無視をされる
- ③軽くぶつかったり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする
- ④ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする
- ⑤金品や物品を要求される
- ⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする
- ⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする
- ⑧SNS等で、虚偽の情報を流されたり、誹謗中傷をされたりする。

4. いじめの未然防止のための取組み

(1) いじめ対策委員会

いじめを未然に防ぐための指導方法や対策を協議するために、次の機能を担う『いじめ対策委員会』を設置し、必要に応じて開催する。

(構成員)

校長、教頭、寮監長、生徒指導主任、人権学習担当、養護教諭

(開催)

年1回開催し、必要に応じて校長が臨時に召集する。

(活動)

- ・いじめ問題対応の年間計画の作成
- ・校内のいじめの現状把握と指導方針・対策の決定
- ・学校におけるいじめ問題への取組みの点検

(2) 社会適応力を育成する取組み

①人権教育の推進

本校の教育の方針に基づく日々の教育活動をはじめ、各教科の授業、生徒会活動、ボランティア活動、総合的な学習の時間、ホームルーム活動、人権講演会、学校行事等に人権教育の視点を位置づけ、いのちの大切さを理解すると共に、他者を認めやさしい配慮ができる生徒の育成をする。

②体験活動の推進

様々な学校行事と本校が従来推進してきたボランティア活動などを通して、生徒同士がお互いをよく知ると共に、相互扶助の心を育成する。

③特別活動の充実

集団や社会の一員としてよりよい生

活や人間関係を構築する力を育むことを目的として、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動、キャリア教育、その他の学校行事の指導の充実を図る。

研究授業、教員研修、授業評価アンケート等を通して、生徒にとって楽しくてわかる授業の実践に努め、生徒の学ぶ意欲と自己有用感を高める。

(3) 教育相談体制の充実

朝終礼、ホームルーム活動、授業等において、担任および教科担当が生徒の小さな変化にも気づくことができるよう常に細心の注意を払う努力をする。また、定期的にクラス担任は個別面談を行い、人間関係での悩み等を聞き取ると同時に、養護教諭や人権学習担当との連携協力を図り、適切な助言やクラス全体への働きかけができるよう努める。

(4) 生徒への啓発

いじめに関する注意喚起を機会あるごとに行うと同時に、生徒会を中心として生徒自らがいじめは絶対に許されない行為であるという意識を高める活動を推進していく。また、生徒だけではなく保護者にもSNS等インターネット上でいじめに関する現状と対策について外部講師による講演会を実施していじめ防止への理解と協力を求める。

(5) コミュニケーション能力の育成(アサーティブな対応ができる生徒を育てる。)

『相手のことを思いやる大切さ』、
『自分の気持ちを伝える大切さ』を認め、それを行動化できる生徒を育成することを人権教育の目標に掲げる。

5. いじめの早期発見のための取組み

(1) 積極的ないじめの認知

朝終礼、ホームルーム活動、授業等で生徒の表情やしぐさをきめ細かく観察すると共に、わずかな変化に対してもいじめの兆候ではないかとの疑いを持ち、教育相談や養護教諭、スクールカウンセラーと連携しながら積極的にいじめを認知するよう努める。

(2) 自己チェックシステムの活用

生徒が定期的に自分の生活を振り返るための自己チェックを行い、それをクラス担任が確認することにより、いじめ等の早期発見に努める。

(3) アンケートの実施

定期的にいじめ等のアンケート調査を行い、問題の早期発見に努める。

(4) 保護者との連携

日頃から担任と保護者との連絡を密に行い、保護者がどんな些細なことでも担任に相談できる環境作りに努める。また、量販店や駅などの関係機関

～「いじめ防止基本方針」と対応組織図について(定期配信)～ つづき

との連携を進め、地域での生徒の様子を把握する。さらに、担任以外にも養護教諭、スクールカウンセラーと相談できる旨を周知し、問題の早期解決を図る。

(5)外部機関との連携

大分中央警察署や大分県こころとからだの相談支援センター等の外部機関と定期的に情報交換する中で、学校外におけるいじめ等問題行動の早期発見に努める。

6. いじめの早期解決に向けた取組み

(1)いじめ調査・サポート委員会

いじめが起きた時、設置し、委員は速やかに実態を調査し、協議を重ね問題解決に向けて計画の立案と適切な対応により、被害生徒を守り通す。一方、加害生徒に対しては教育的配慮の下、毅然とした態度で指導に当たる。

(構成員)

生徒指導主任、人権学習担当、養護教諭、スクールカウンセラー、当該分掌主任、当該学年主任、当該学級担任、当該教科担任、当該部活動顧問等

(活動)

- ・いじめの実態調査
- ・当該いじめ事案の対応方針の決定
- ・当該いじめ事案の対応経過確認および対応方針の修正

(2)被害生徒・加害生徒への迅速な対応

複数の関係者からの情報収集および事実確認をした上で、被害生徒の安全を最優先に考え、加害生徒に対しては毅然とした態度で指導に当たる。教職員への情報共有に関しては、まず授業担当者等の説明を速やかに行い、状況に応じて臨時職員会議を開催して経緯や対応について協議する。

被害生徒に対して、継続的なカウンセリングを行うなどメンタル面のサポートを十分に行い、一日も早く安心して学校生活を送れるように努める。また、授業を教室で受けられない状況の場合、速やかに別室での学習指導や自宅を含めたオンライン授業

を計画・実行する。

加害生徒に対して、いじめに至った背景等をカウンセリング等により聞き取り、本生徒の立ち直りと再発防止に努める。

(3)保護者との連携

被害生徒および加害生徒の保護者に対して、家庭訪問等によりいじめの状況と今後の対応について十分な説明を行い、理解と指導についての協力を得る。

(4)外部機関との連携

必要に応じて、大分中央警察署や大分県心とからだの相談支援センター等の外部機関と連携を取りながら早期解決に向けた最善の方法を講じる。

犯罪行為として取り扱われるべき事案については、学校法人および大分中央警察署等と連携して対処する。また、必要に応じて大分地方方法務局や大分県中央児童相談所と連携を取りながら、いじめの被害者や加害者への適切な対応について教示を得る。

7. 重大事態への対処

(1)重大事態とは

重大事態とは、『いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認め』」事態及び『いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認める』」事態と定義されている。

いじめ防止対策推進法第28条第1項は重大事態を、いじめにより重大被害が発生した『疑いがある』事態と定義している。したがって、いじめの実行行為と重大被害の発生との間に因果関係が存在することが疑われれば、因果関係の存在が明白でなくとも、この要件が満たされることになり、さらに、そもそもいじめの発生が疑いにすぎなくとも、いじめの発生が疑われ、かつ、いじめにより重大被害が発生したと疑われるときは、この要件が満たされることになる。

なお、重大被害の発生は、学校にとって明白でなければならず、発生の疑いがあるというだけでは足りない点に注意を要する。(以上、いじめ防止対策推進法第28条第1項より)

(重大事態)

- 生徒が自殺を企画した疑いがある場合
- 身体に重大な障害を負った疑いがある場合
- 精神性の疾患を発症した疑いがある場合
- 金品等に重大な被害を被った疑いがある場合
- 余儀なく年間の欠席が30日程度以上になった疑いがある場合
- 連続した欠席の場合は、その疑いがある場合は状況により判断する
- 生徒や保護者から、いじめられて重大な事態に至ったという申し立てがあった場合

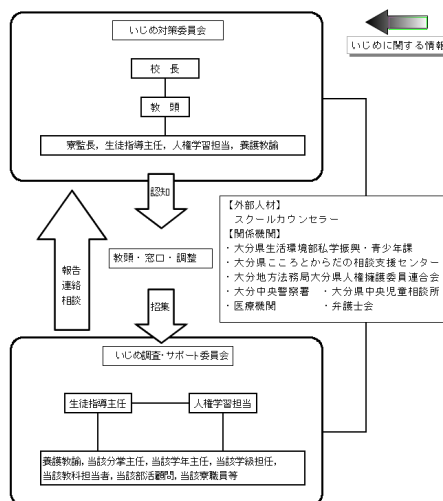
(2)対応ならびに関係機関への報告

重大事態が発生した旨を、学校法人および大分県生活環境部私学振興・青少年課を通じて知事に速やかに報告する。その後、学校が調査の主体となる場合は、全学危機管理委員会が緊急対策本部を設置し、実行委員会タスクフォースがいじめ調査・サポート委員会を召集し、当該重大事態に応じて適切な専門家を加えて調査を実施する。そして、いじめを受けた生徒、保護者及び関係した生徒の心のケアに努めるとともに再発防止に努める。

8. 学校の基本方針の評価等

いじめ対策委員会を中心として、全教職員により学校がいじめ防止基本方針を定期的に評価し、必要に応じて見直しを図る。また、保護者対象の学校評価アンケートの項目に、いじめ問題等の基本方針について評価する項目を加え、学校の取組みを検証する。

【資料1】 森田中学校・高等学校 いじめ問題対応組織図



【チェックシート1】

1 いじめられている生徒のサイン

いじめられている生徒は自分から言い出せないことが多い。多くの教員が目で多くの場面で見守る観察し、小さなサインを見逃さないことが大切である。

場面	サイン
登校時 朝のS・HR	<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席が増え、理由を明確に言わない <input type="checkbox"/> 教員と視線を合わせず、うつむいている <input type="checkbox"/> 体調不良を訴える <input type="checkbox"/> 提出物を忘れたり、期限に遅れる <input type="checkbox"/> 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる
授業中	<input type="checkbox"/> 保健室・トイレに行くようになる <input type="checkbox"/> 教材等の忘れ物が目立つ <input type="checkbox"/> 机周りの散らかりが激しい <input type="checkbox"/> 決められた座席と異なる席に書いている <input type="checkbox"/> 教科書・ノートに汚れがある <input type="checkbox"/> 交際個人名が出される
休み時間等	<input type="checkbox"/> 弁当にいたずらされる <input type="checkbox"/> 座席を教室の自分の席で長くない <input type="checkbox"/> 用のない場所にいることが多い <input type="checkbox"/> ふざけ合っている表情が見えない <input type="checkbox"/> 衣服が汚れていたりしている <input type="checkbox"/> 一人で再帰している
放課後等	<input type="checkbox"/> 遅くて下校する。または、用もないのに学校に戻っている <input type="checkbox"/> 持ち物がなくなった、持ち物にいたずらされる <input type="checkbox"/> 一人で部活動の準備、片付けをしている

2 いじめている生徒のサイン

いじめている生徒がいることに気付いたら、積極的に生徒の中に入り、コミュニケーションを確りし、状況を把握する。

サイン
<input type="checkbox"/> 教室等で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている <input type="checkbox"/> ある生徒にだけ、周囲が異様に気を遣っている <input type="checkbox"/> 教員が近づくと、不自然に分散したりする <input type="checkbox"/> 自己中心的な行動が目立ち、ボスの存在の生徒がいる

2月17日(月)6限目に、体育館で高3を除く全校生徒が集まって生徒総会を実施しました。第39期生徒会執行部の進行のもと、第40期生徒会の各委員会において、以下の活動内容や提案事項が承認されました。

◇執行委員会

【生徒会長】 上杉知也

【副会長】 池田結衣 矢野瑛介

【庶務】 大塚瑞姬 河野寛之

<スローガン>

集(はやぶさ)～全員が羽ばたける学校へ～

<活動内容>

1. 学園祭関係
→学園祭の改革や企画、運営などを行う
 2. ボランティア活動
→ボランティア委員会と協力して、募金活動などを行う
 3. 歓迎遠足などの行事の運営・企画
 4. 「生徒会活動報告書」の作成
→広報委員会と協力して、各委員会の情報を収集して作成する
- <提案事項>
1. 学園祭の新案の実施
→新イベントの案の募集と2025年度版のスタンブラリーの実施
 2. 充電できる環境の整備
→勉学をより快適にするためにiPadの充電ができる環境を整備する
 3. スクールメイクの許可
 4. 新行事の提案
→ハロウィンパーティーなど
 5. 登下校の服装の見直し
→放課後、部活着などの服装で帰れるように交渉する
 6. 放課後の時間を使ったミニゲームの実施
→BLENDでアンケートをとり、リクエストの多いものを放課後に実施する

◇体育委員会

【委員長】 藤吉航平

【副委員長】 池永桜

<スローガン>

Eスポーツ～Enjoy・Exercise・Experience～

<活動内容>

1. 体育大会の企画・運営
 2. クラスマッチの企画・運営
 3. 授業用ビブスの洗濯
→夏は1週間に1回、冬は2週間に1回行
 4. 体育倉庫の掃除
→月1回土曜日の放課後に行う
 5. 体育用具の整理
→月1回土曜日の放課後に行う
- <提案事項>
1. 体育大会の新競技の提案
 2. クラスマッチの競技の見直し
→競技変更、ルールや人数の明確化などを行う
 3. 昼休みの体育館開放時の管理
→体育館の備品や用具の片付け、飲食禁止、時間の確認などを行う

◇美化委員会

【委員長】 堤沙太

【副委員長】 古手川瑠衣

<スローガン>

清掃界限～1人1人が清掃に関わる学校へ～

<活動内容>

1. 火・水・木・金・土曜のゴミステーションの開放 ※月曜はゴミステーションを開放せず、渡り廊下のゴミ回収を行う
2. 掃除用具の点検・交換・補充
→全掃除道具のチェック表を作り、月に1回委員長と副委員長が放課後に点検、交換、補充をする
3. ゴミ箱の拭きあげ
→各学期の最後の週に、学年ごとに各クラスのゴミ箱を掃除する
4. 学園祭片付け日のゴミの分別
→効率化を図るため、生活委員と合同で実施する
5. 同窓会地域清掃への参加
→各クラスの美化委員・ボランティア委員は同窓会地域清掃に参加する

<提案事項>

1. 分別ポスターの作成
→学校でよく出るゴミの分別ポスターと17アイスのゴミの分別方法をわかりやすくまとめたポスターを作る
2. ゴミの分別の徹底
→ゴミの分別がしっかりできていないクラスに注意書きの紙を渡したり、呼びかけたりする
3. 17アイスのゴミ箱の管理の徹底
→17アイスのゴミ箱を抜き打ちでチェックする

◇広報委員会

【委員長】 高谷真惟

【副委員長】 宮脇克典

<スローガン>

情報で築く笑顔と絆

<活動内容>

1. 新聞の発行
→毎月更新する
→内容は学校行事や部活動紹介など
→発行形態は紙、BLEND上でのデータ配信の2通り
→体育大会、学園祭、クラスマッチの時期などに臨時号を発行する
2. 生徒会活動報告書の作成
→各委員会の公約や、活動内容の進捗状況を毎学期末にBLENDにて配信する
3. 生徒アンケート実施
→BLENDで生徒に様々なアンケートをとり、新聞にて結果を発表する

<提案事項>

1. クラスの広報委員と連携・新聞作成
→新聞に掲載する記事の一部を、クラスの広報委員と連携して作成する
→一年を通して全クラスが必ず1回は記事の作

成に参加する

2. 先生へのインタビュー記事を新聞に掲載
→学年団以外の先生や、まだ関わったことのない先生について知るきっかけを作る
→BLEND上でインタビューをする先生に関わる質問を募集し、その回答を新聞に掲載する
3. 各クラスに紙の新聞配布
→これに伴い、新聞掲載用の厚紙を配布する
→クラスの広報委員がクラスの新聞を管理する
→紙で配布することで新聞を目にする回数を増やす

◇文化ICT委員会

【委員長】 宮川真由香

【副委員長】 石井開

<スローガン>

One Step At A Time ～一歩一歩～

<活動内容>

1. 生け花教室
→季節行事ごとに開催(約2ヶ月に一回)
→2回参加で御免状を申請できる(年度をまたいでも構わない)
→伝統文化を伝える人や企業にお願いして、講習会を開催する
2. 文化的活動
→芸術鑑賞会での運営を補助する
3. 講習会の開催
→伝統文化を伝える人や企業にお願いして、講習会を開催する

<提案事項>

1. 文化新聞の休止
→インスタ等で文化活動を紹介しているため休止する
2. 留学生の国の物産展を開く
→留学生の国のた食べ物や物などを紹介する物産展を開く
3. ボードゲーム大会の実施
→異なる設定やルールの中で、チームワークのスキルも養えるコミュニケー ションツールとして活用できる
4. フォトコンテストの開催
→文化ICT委員会が決めたテーマに沿って生徒に写真を応募してもらう

生け花教室(バレンタインアレンジメント)



◇図書委員会

【委員長】 伏見遥響
【副委員長】 米田華子

<スローガン>

Less is More ～目立たなくても輝いて～

<活動内容>

1. 図書室の管理
→各クラスの担当曜日を決めて、当番表を配布する 来ない場合は報告書を担任の先生に渡す、もしくはクラスの連絡ボックスに入れる
 2. 要望のある本の購入
→図書室内にある用紙に読みたい本の名前を書き、箱に入れてもらう 要望のあった本は購入を検討する
 3. 「岩田生の主張」の募集・運営
→学園祭「岩田生の主張」出場者の募集、発表の練習、参考資料の紹介をする
 4. 1号館1階にある図書室の特別公開
→1号館にある図書室を一時的に公開する
 5. 本に関するイベントの開催
→図書委員と希望者による書評ゲーム「ビブリオバトル」を開催する
 6. 移動図書の開催
→屋外でおすすめの本などの貸し出しを行う
- <提案事項>

1. スタンプカードの配布
→本を借りるたびにスタンプを1つ貰える たくさん貯まると良いことがあるような取り組みを検討する
2. ポスターの掲示
→図書活動についてのポスターを制作し掲示する

◇保健委員会

【委員長】 河野葉菜
【副委員長】 田邊大地

<スローガン>

心体笑顔 (ココラスマイル)

<活動内容>

1. 病気の予防
 - ①消毒活動
→手すり、自動販売機など

- ②消毒液、次亜塩素酸、石鹸液補充
 - ③手洗いうがいの呼びかけ
 2. 冷水機の掃除
 3. 各イベントや身体測定の補助
- <提案事項>
1. 青少年赤十字の活動 (救急講習, 献血呼びかけ活動など)
 2. 健康観察の呼びかけ
→各クラス保健委員が朝、呼びかけ
 3. 消毒液、次亜塩素酸の設置場所の見直し

◇ボランティア委員会

【委員長】 衛藤朗
【副委員長】 ゲンタンアンピン

<スローガン>

飛べ～その翼で誰かを助けよう～

<活動内容>

1. ペットボトルキャップ・コンタクトレンズの回収、呼びかけ
→ペットボトルキャップ・コンタクトレンズを集める 回収ボックスの配置、個数確認 (1号館・3号館・寮に1つずつ設置)
 2. 募金活動の実施
→UNICEFの「アフリカへの募金活動」(春)への参加 ※できる限り参加。
→あしなが学生募金活動への参加 ※できる限り参加。
→ウクライナ支援募金
→歳末助け合い募金 その他必要時に募金活動を行う予定
 3. 同窓会地域清掃への参加
→各クラスの美化委員・ボランティア委員は同窓会地域清掃に参加す
- <提案事項>

1. クラウドファンディング
→世界・日本の問題に対する募金の実施 →医療や子供食堂等 (BLENDにてアンケートを実施する)
2. 子供に英語教室を作る
→子供が楽しく英語を学べる時間を作る目的
→月 (9月 1月) に1回, 週末にホールで行う
→参加者: 英語を学びたい子どもたち (小学

生)
→人数の募集はBLENDでアンケートをとる

◇生活委員会

【委員長】 飯田心春
【副委員長】 武内光暁

<スローガン>

Iwata level up

<活動内容>

1. 自転車点検
→自転車点検の検査補助抜き打ちツーロック
2. 落とし物新聞の作成
→一ヶ月に一回, 落とし物新教室掲示とBLEND配信
3. 傘の貸し出し
→月に1回生活委員が見回り, 本数を確認・整備する
4. セブティーンアイス自販機
→学期に1回の頻度でアンケートを実施し, 改善を検討する
5. 学園祭中の全校一斉片付け時のゴミ分別の補助
→効率化をはかるため, 美化委員と合同で実施する
6. 制服の着こなしの提案
→ポスターを作成しておしゃれな制服の着こなしのポイントを発信する

<提案事項>

1. 駐輪禁止部分のペナルティ
→禁止エリアにとめた人には, ツーロックできていなかった人と同じようにペナルティを与える
2. 間食時のお菓子許可
→間食で食べられる物の他にお菓子を追加する
3. 傘を借りた人の名簿の作成
→職員室にある「貸し傘名簿」の設置場所を再検証し, 必要があれば変更する

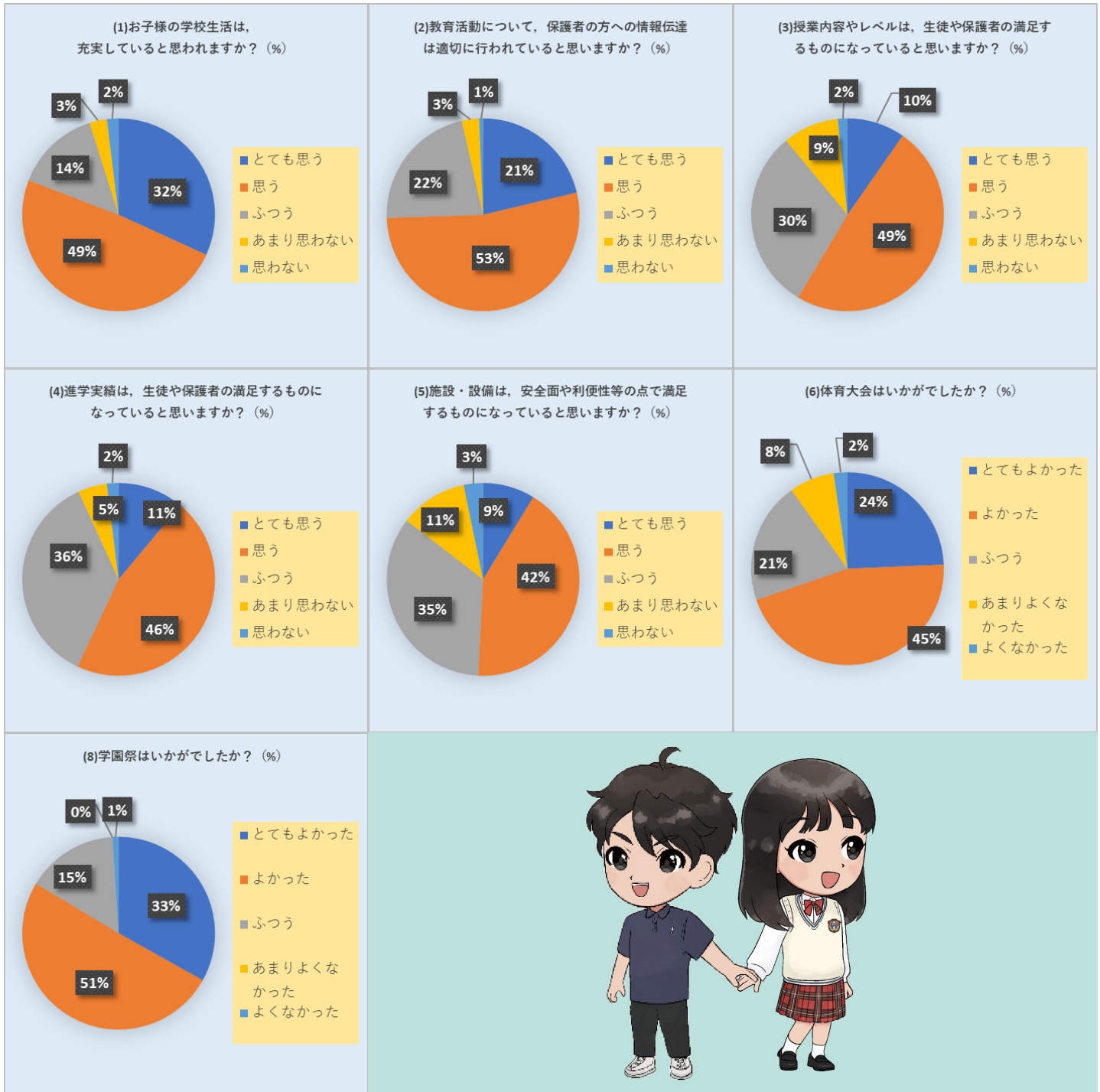


保護者の皆さまにご回答いただきました「学校評価アンケート」（2024年12月実施）の全校集計結果について、ここにご報告申し上げます。今回のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。集計結果は310件（回答率73.8%）となり、多くの保護者の皆さまから貴重なご意見をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

いただいた回答は、今後の教育活動の改善に向けて大変貴重な指針となります。特に『生徒一人一人の学びへの意欲を引き出し、学力向上を促進する』ことや、『より充実した環境を整

備し、安心して学べる場所づくり』が引き続き重要な課題として挙げられました。これらの課題に対して、全職員が一丸となり、さらに努力を重ねていく所存でございます。

また、アンケートでいただいた多様なご意見を踏まえ、今後も学校運営に反映させ、より一層の改善を目指して鋭意努力してまいります。保護者の皆さまのご支援とご理解を賜りながら、生徒一人一人がより良い学びの環境で成長できるよう、引き続き尽力してまいります。



～「子ども未来コーチング」特別授業～

特活主任 宮川 修一

「自分の人生を喜び生きるこどもや大人を増やす」をテーマに多方面で活躍中の 株式会社mother ship 代表・水田 結先生をお招きし、中学3年生と保護者の皆さまを対象に「子ども未来コーチング」の授業を実施しました。

終わりに生徒代表の御礼の言葉を平川晃生さんが行いました。今回のお話を聞いて、「自分を大切にすること」や「自分らしい生き方」について改めて考えることができました。特に、「違いがあるからこそ、誰かを喜ばせることができる」という言葉が心に残りました。つい周りと同じことをしてしまいがちですが、自分らしくいることの強みを大切に、これからは自分のやりたいことに挑戦したいと思います。

私たち40回生は「For me For you Forty 自分を大切に、みんなを大切に」というスローガンを掲げて共に歩んできました。今日のお話を通して、自分の大切さだけでなく、仲間の大切さも改めて実感しました。これからも自分を大切に、そして仲間を大切に、みんなで頑張っていきます！

水田 結先生、素晴らしいお話をありがとうございました！

《生徒の感想》

・自分だけみんなと食い違うことを思うことなどが増えてきて不安に思っていたのですが、成長期には当たり前であるを知って安心した。また、家族や友達が支えてくれることを当たり前と思わず、自分らしさを大切に生きていきたい。

・命の大切さや親からの愛情を再認識することができた。将来どうなるかわからないけど、それまで精一杯生きようと思った。

・僕は結構周りに合わせてしまうところがあるので、今回の話を聞いて自分らしさを大切にしていきたいと思った。未来のことを考えることはとてもわくわくするし楽しいことなんだなと思った。

・お父さんとお母さんが大切に育ててくれたことに改めて感謝しなければならなかった。

・自分が生まれた意味について考えることができた。

～血液センター見学・医療系学科体験～

高1学年主任 立川 英季

2/13(木)に、高1 医進クラス(4-2)で 日本赤十字社 九州 ブロック血液センター(久留米市)・国際医療福祉大学(大川市)に行ってきました。これは医進クラス独自のプログラムとしてあった企画がコロナ禍で途絶え、今回復活したものです。恒例であった血液Cに加え、今回は新たに国際医療福祉大学の医療

系各学科、また隣接する高木病院での見学・説明・学科体験を受けることができました。実際に説明中にも救急搬送があったり、薬剤のパックを大学生の指導を受けながら作ったり、生徒達は医療現場の「厳しさ」も「やり甲斐」も実感できたのではないかと思います。



～保健室より～ 養護教諭 野村 めぐみ

第16回青少年赤十字救急法大会に出場しました！

2/11(火)に東明高校で実施された救急法大会に4年生の田邊大地さん・河野寛之さん・菊池智瑛さんの3人が挑戦しました。救急法大会は、三角巾を使った応急手当・心肺蘇生法・座学の3種目で各チーム競う大会で、この日のために、休み時間や放課後など何度も練習して挑みました。

残念ながら入賞はできませんでしたが、初出場ながら16チーム中4位(3位とは2点差)という大健闘でした。また、3人を影ながら支えた4年生河野葉菜さんも大会スタッフとして大活躍でした。



◇第37回大分県高等学校競書展

・毛筆の部	高教研会長賞	5-2 野村 心春	心春
	特選	4-1 飯田 心春	瑠来
・硬筆の部	推奨	4-1 有馬 瑠来	心春
	推奨	5-2 野村 心春	健翔
	特選	4-2 杉田 健翔	亜文
		5-4 荒木 亜文	

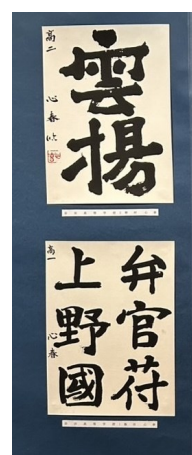
◇第43回大分県ジュニアデザイン展

推奨	4-1 伏見 遥響
佳作	3-2 矢野 義博

◇大分市若手起業家育成事業

おおいた学生ビジネスプランコンテスト

最優秀賞	5-4 室ほのか	賞金30万
奨励賞	5-2 川越り	賞金5万



～部活動結果報告～

【インターアクトクラブ】

2/2(日)節分、インターアクトクラブ餅つき大会を本校体育館前駐車場で行いました。部員15名と保護者、寮生有志、大分キャピタルロータリークラブ会員の総勢約50名が参加しました。当日は10時前の開会宣言とほぼ同時に雨がやみ、屋外での活動ができませんでした。参加者は、前々日から研いで水につけておいた半俵分30kgのもち米を、20回に分けてせいろで蒸し、石臼に運び、杵でつき、餅きり機で適当な大きさに分け、丸餅や、餡子餅に形成し、もろぶたに並べていきました。つきたてを酢餅や、甘辛醤油と焼き海苔でいただきながら、餅のつき手に合いの手をいれたり、つく側に回ったりと、今ではあまり行われなくなった日本ならではの行事を満喫しました。餅つき大会は、本校インターアクトクラブが創立時から企画があったもので、ロータリークラブの方々のご尽力のもと、6年越しで実現させることができました。保護者の皆様にはインターアクトクラブの活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。(顧問 平川 絵里子)

【中学サッカー部】

2/8(土)大分市中学サッカー1年生大会(キムラヤ杯)
 ・岩田・坂ノ市・判田 3-1 碩田・大分西・東陽
 ・岩田・坂ノ市・判田 4-1 豊府・南大分 <パート優勝>
 中学1年生の男子6人が坂ノ市中学と判田中学との合同チームで参加し、見事にパート優勝という結果を出しました。間違いなく攻守において岩田の生徒達がチームの中心となって勝利に貢献していました。得点においても総得点7点の内、5点は岩田の生徒が取り、守りにおいても身体を張って相手の攻撃を止めるのはだいたい岩田の生徒でした。この経験を自信に変えて、今後の成長に繋げて欲しいです。極寒の中、応援して下さいました保護者の方々に心から感謝申し上げます。(顧問 野村 哲也)

～卒業生によるバトンルーのご案内～

★どちらも保護者の方の参観ができます！

リアルイベント

3.18(火) 岩田学園体育館

Vol.13

卒業生講演会イベント

君たちはどう生きるか

13:10-14:00(中1)
14:10-15:00(中2)
15:10-16:00(中3)

32回生 安藤 莉沙
#東京義大 #日本舞踊 #大分市 #北軍 #陸上部・サッカー部

知ってる？日本舞踊の世界
日本舞踊の魅力と、私の挑戦！

19回生 藤沢 尚慶
#旭化成 #早稲田大 #佐伯市 #北軍 #福岡 #寮生 #サッカー部 #美化委員

リアルイベント

3.22(土) 9:35-11:25

Vol.14

卒業生講演会イベント

4号館 大講義室

君たちはどう生きるか

16回生 小澤 廣記
#医師 #聖路加国際病院 #東大医学部 #副生徒会長 #硬式テニス部・ESS

総合診療医の視点から見る
医師の仕事とキャリア！

19回生 藤沢 尚慶
#旭化成 #早稲田大 #佐伯市 #北軍 #福岡 #寮生 #サッカー部 #美化委員

3月の行事予定

- 3/1(土) 岩田高校卒業式
- 3/3(月)～3/6(木) 期末考査
- 3/8(土) 転入学考査
- 3/11(火) 答案返却
- 3/12(水) 国公立大後期試験
3・4・5年クラスマッチ
- 3/13(木) 1・2年クラスマッチ
- 3/15(土) 休業日
- 3/17(月) 職員会議
- 3/20(木) 春分の日
高校入試(後期)
合格発表
入学者登校日
- 3/22(土) 中3卒業式予定
- 3/24(月) 中学校卒業式・終業式(午前)
寮生帰省
- 3/25(火)～4/7(月) 春季休業
- 3/29(土)～3/31(月) 閉校日



〒870-0936

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

HP <https://www.iwata.ed.jp>

現在フォロワー数1625名！
日々岩田学園より発信しています！



Instagram



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校